

日本情報産業新聞
INFORMATION INDUSTRIES AND MARKETS NEWS

媒体資料
DATA SHEET

日本情報産業新聞とは

業界の発展と共に・・・

日本情報産業新聞は、1968年に「データネット・ニュース」の名でスタートし、「EDPジャーナル」を経て、1970年に現紙名となりました。黄色い題字で知られ、文字通り情報産業界を網羅する情報紙として、全国の読者から根強い支持をいただいております。1960年代のITサービス会社は全国で120社足らずでしたが、現在は株式を公開している企業だけでも240社を超え、ITサービス業全体で1万社を超える規模になっております。こうした業界の発展とともに長年蓄積した情報をベースとして、“現在（いま）”、そして、これからのITサービスに関する情報を紙面を通じて伝えております。

日本情報産業新聞のミッション

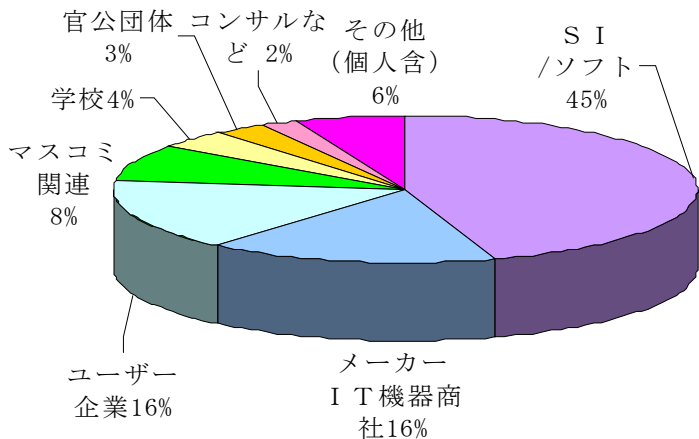
当紙は時代変遷と共に、先端技術や市場動向などの最新情報を分かりやすい紙面と解説で紹介してまいりました。IT業界の深層を明らかにする解説記事、時代の流れを予測する記事、最新トレンドや業界の抱える問題を探る特集など、多くの読者の共感を呼ぶ媒体として親しまれております。

媒体概要

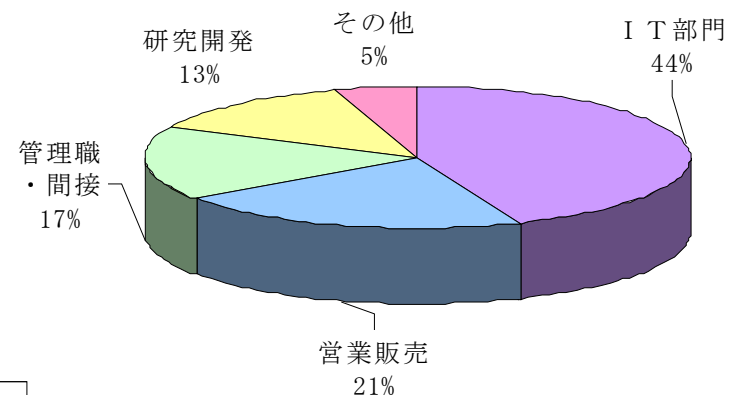
- 名称 日本情報産業新聞
- 創刊 1968年6月12日
- 発行日 毎週月曜日(ただし新年号は1月1日)
- 版型 ブランケット版
- ページ建て 1部平均8ページ(増頁あり)
- 広告段数 38段
- 購読形式 直販
- 購読方法 年間購読
- 年間購読料 1年分(4-3月)前払い16,956円

購読者の属性

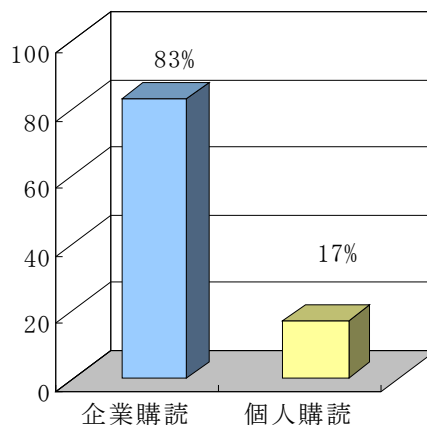
購読者属性



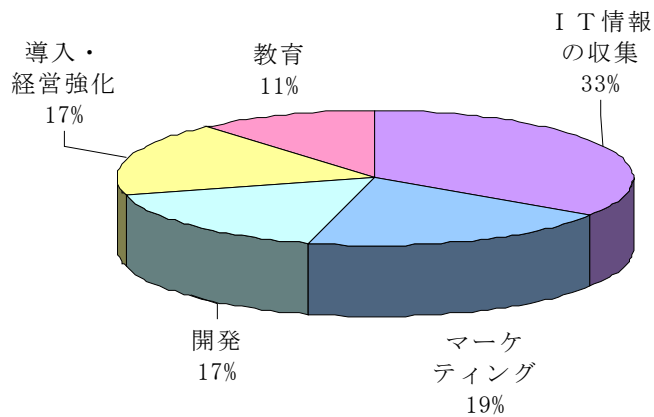
所属部門別



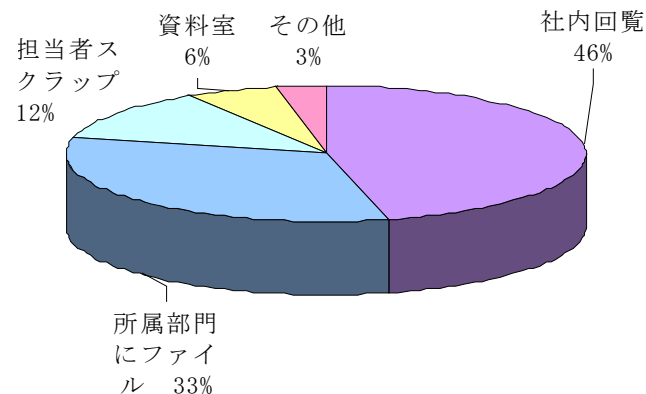
購読形態



購読の目的



読書後の利用方法



タイアップ

下記の展示会や業界団体とタイアップして既存の読者以外にも紙面を配布しております。通常の紙面に加え、特定のテーマに絞った別冊特集の企画なども行っております。

(例)

5月 Japan IT Week
「クラウドコンピューティングEXPO」 (東京ビッグサイト)
配布部数 約5000部

10月 地方公共団体情報システム機構 (J-LIS) 主催
「地方自治情報化推進フェア」 (東京ビッグサイト)
配布部数 約2000部

クロスメディア

複数媒体への情報配信

掲載した記事や広告は下記の形態でも配信しています

- ・ 富士山マガジンサービス「情報産業新聞デジタル版」
(PC/スマートフォン/タブレット)
- ・ E L N E T「企業向けクリッピングサービス」
- ・ 日経テレコン21「記事検索データベースサービス」
- ・ B-B動画
(マッチングサイト「Web Knowledge XpoCWKX」)

広告料金表

スペース	天地×左右	基本料金
<通常面>		(単位=cm) (円)
3段 1/4	10.0 × 9.1	90,000
3段 1/2	10.0 × 18.4	160,000
5段 1/2	16.8 × 18.4	220,000
全5段	16.8 × 37.4	400,000
7段 1/2	23.7 × 18.4	264,000
全7段	23.7 × 37.4	500,000
8段 1/2	27.1 × 18.4	288,000
全8段	27.1 × 37.4	576,000
全10段	33.9 × 37.4	670,000
全15段	50.9 × 37.4	800,000
全15段見開	50.9 × 77.4	1,584,000
記事中	3.1 × 6.0	40,000
突出し	6.6 × 5.1	60,000

スペース	天地×左右	
<1面>		(単位=cm) (円)
3段 1/4	10.0 × 9.1	122,000
3段 1/2	10.0 × 18.4	208,000
突出し	6.6 × 5.1	90,000
題字横	5.7 × 4.5	90,000
<最終面>		
全5段	16.8 × 37.4	514,800
<割引>		
告知広告	特殊な場合を除き各スペースに相当する	
書籍広告	料金の20%引	

- 1.カラー印刷の場合は30万円の加算となります。 摺み広告 8割引き
- 2.年間契約をいただく場合には、さらに割引をいたします。(全5段10回36万円)
- 3.段数契約と特集指定契約があります。 代理店マージン 20%
- 4.3段1/4は記事広告のみとなります。

部数: 10, 000